【ＭＳＤＳ受領書】　◇◇◇

化学物質等安全データシート

作成日 1996 年 10 月 15 日
改訂日 2008 年 7 月 10 日

1．化学物質等及び会社情報

化学物質の名称　**液体苛性ソーダ**

会社名	*後藤化学株式会社*
住所	三重県四日市市三栄町2番15号
担当部署	業務部
電話番号	059-351-1330
FAX番号	059-351-1685
緊急時連絡先の電話番号	059-351-1330
緊急時連絡先の担当部署	業務部，営業部

2．危険有害性の要約

・人の健康に対する有害性　：蛋白質を分解する作用があり、付着したものを完全に除かない限り、次第に組織の深部に及び恐れがある。特に眼に入ると視力の低下や失明をすることがある。
：希薄溶液でも、繰り返し接触していると皮膚表面の種々の組織を侵し、直接刺激性の皮膚炎又は慢性湿疹の症状がある。
：濃度が濃いときには、急激に局部を腐食する。
：ミストを吸入すると気道の刺激症状がある。
：誤って飲み込んだときには、口腔，喉，食道，胃などに炎症を起こす。

・環境への影響　：強アルカリ性で環境にとって有害である。漏洩したときは魚介類，動物及び植物に対して特に注意する。

・物理的及び化学的危険性　：アルミニウム，すず，亜鉛等の金属を腐食して水素ガスを発生する。

・特定の危険有害性　：特になし

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	：区分外
	自然発火性液体	：区分外
健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性	：区分１Ｂ
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	：区分１
	皮膚感作性	：区分外
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	：区分１（呼吸器系）
	吸引性呼吸器有害性	：分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	：区分３

絵表示またはシンボル

注意喚起語　**危険**

危険有害性情報　：重篤な皮膚の薬傷
：重篤な眼の損傷
：臓器（呼吸器系）の障害
：水生生物に有害

【48%苛性ソーダ】　◇◇◇

目に入った場合 ：直ちに大量の清浄な流水で15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
：できるだけ早く医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 ：患者に吐かせようと試みると、かえって侵されて薄くなった胃壁が破れることがあるから絶対にしてはならない。
：できるだけ多量の水を飲ませ、速やかに医師の手当てを受ける。

５．火災時の措置

消火剤 ：不燃性。周辺の火災に適切な消化剤を使用する。
特定の消火方法 ：移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出する。
：移動不可能な容器は、安全な距離から周囲を散水冷却し容器の破壊を防ぐ。
消火を行う者の保護 ：防火用の保護眼鏡，保護手袋，防毒マスク等を着用し、風上から消火する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項（保護具及び緊急時措置） ：極めて腐食性が強いので、作業の際には必ず適切な保護具（手袋，保護マスク，エプロン，ゴーグル等）を着用する。
環境に対する注意事項 ：濃厚な廃液が河川等に排出されない様に注意する。
回収、中和（廃棄などの封じ込め浄化の方法･機材） ：小量：漏洩した液は多量の水を用いて十分の希釈して洗い流す。
：多量：漏洩した液は土砂等でその流れを止め、土砂等に吸着させるかまたは安全な場所に導いて多量の水をかけて洗い流す。必要があれば更に中和し、多量の水を用いて洗い流す。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 ：眼や皮膚を腐食するので保護眼鏡，ゴム手袋，ゴム長靴等の保護具を必ず着用する。
：取扱場所の近くに緊急用の洗顔器や身体洗浄を行うための設備を設ける。
：取り扱い後は手，顔等を良く洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
：希釈する場合や酸を中和する場合は、発熱を伴うので、攪拌しながら水酸化ナトリウム水溶液を徐々に加える。逆に、水酸化ナトリウムの濃厚溶液に水や酸を加えると、突沸を起こすおそれがあるので極めて危険である。
注意事項 ：漏れ，溢れ，飛散等しないように慎重に取り扱う。
安全取扱注意事項 ：特になし

保管
（適切な）保管条件 ：毒物劇物取締法に基づき貯蔵は「毒物及び劇物の貯蔵に関する構造・設備等基準」に従うこと。基準の主な内容は下記の通り。
（タンク）オーバーフローを防止するための液面計を設ける。
（防液堤）容積はタンク容量の100%相当とし、２基以上のタンクがある場合には、最大タンクの容量の１００%相当とする。
（受入口）ローリーホース等との接続はフランジ結合，ねじ込み結合等とする。貯蔵場所及び取扱場所付近には洗浄，手洗い装置を設ける。
：アルカリ性であるので、酸性物質と同じ場所に貯蔵または保管しない。

：空気中の湿気や炭酸ガスを吸収し、品位が低下するので密栓して保管する。
：気温が低下すると凝固することがある。
（安全な）容器包装材料　：ステンレス容器，ＰＥ容器，ＰＰ容器

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にする。
：作業場所に緊急時のシャワー及び洗眼の装置をとり付け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度　：未設定
許容濃度　：日本産業衛生学会（2001年度版）：【TWA】ﾐｽﾄ 2mg/m^3
：ＡＣＧＩＨ（2001年度版）　：【TWA】未設定
：　：【TWA】ﾐｽﾄ 2mg/m^3
：ＯＳＨＡ（1993年度版）　：【PEL】ﾐｽﾄ 2mg/m^3
保護具
呼吸器用の保護具　：空気呼吸器を着用する。
手の保護具　：ゴム製保護手袋を着用する。
目の保護具　：ゴーグル型保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具　：ゴム製保護具を着用する。
適切な衛生対策　：取扱者には本品の化学的性質、物理的性質、有害性、危険性等の教育をし、「７．取扱い及び保管上の注意」の項を遵守する。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態
形状　：液状で、濃度，温度により固化することがある。
色　：無色又は灰色
臭い　：無臭
物理的状態が変化する特定の温度，温度範囲（℃）
：融点　・凝固点　データなし
：沸点　138
引火点（℃）　：なし
爆発特性　：爆発限界(%)　下限：なし，上限：なし
蒸気圧　(Pa)　：データなし
比重（相対密度）　：約 1.50/cm^3
溶解度　：溶媒に対する溶解性　：水に易溶
：溶媒の溶解性　：データなし
自然発火温度（℃）　：なし
その他のデータ　：なし

１０．安定性及び反応性

安定性　：データなし
反応性　：水または酸と接触した場合には激しく反応し,発熱する。（中和熱57.6kJ/mol）
：アルミニウム，スズ，亜鉛，クロム等の金属と反応し、可燃性の水素を発生し、爆発することがあるので注意する。
危険有害な分解生成物　：データなし

【48%苛性ソーダ】　◇◇◇

：労働安全衛生法，毒劇物法に該当するので、それぞれの該当法律に定められる運送方式に従う。
：５t以上の量を車輌で運搬する場合は、交換運転者，標識，保護具，緊急時の措置を記載した書面等、毒劇物取締法に定められた事項を順守すること。
：船舶安全法に定めるところに従う。
：航空法に定めるところに従う。

１５．適用法令

・ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（ＰＲＴＲ法）
：該当しない
・ 毒物及び劇物取締法　：劇物　第2条 別表第2 政令番号54号
・ 労働安全衛生法　：第57 条の2 （文書(MSDS)の交付等）　別表第9 政令番号318号
・ 船舶安全法　：危告示 別表第3 腐食性物質
・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する規則（海防法）
：有害性物質（D類）
・ 港則法　：危険物の腐食性物質
・ 航空法　：施行規則第194条 危険物腐食性物質
・ 廃棄物の処理及び製造に関する法律
・ 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
・ 水質汚濁防止法
・ 外国為替及び外国貿易管理法、輸出貿易管理令、別表第１の16項に掲げる貨物に該当するので、輸出の際に許可申請要件（客観要件、インフォーム要件）に該当する場合は輸出許可が必要である。

１６．その他の情報

引用文献

・製品安全データシート「カセイソーダ(液)」日本ソーダ工業会1998
・Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) 1985-86 Ed., National Institute for Occupational Safty and Helth (NIOSH),1987

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。
なお、記載のデータや評価に関してはいかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱を対象としたものですので、特殊な取り扱いをする場合には新たに用途，用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。製品の譲渡時にはＭＳＤＳを添付してください。

ＭＳＤＳの内容に関するお問い合わせ先

後藤化学株式会社　業務部，営業部
TEL：059-351-1330
FAX：059-351-1685